

李 寧, チャイヴィパース ウィン, 倉科 隆, 岡田 健一, 松澤 昭 東京工業大学大学院理工学研究科 電子物理工学専攻



1



# 背景・目的 サンプリングミキサの基本動作 寄生素子を含んだ動作解析 電荷積分 移動平均

















### サンプリングミキサにおいてTAの性能が重要

### ・出力抵抗 ・寄生容量 フィルタ特性の劣化

#### 出力抵抗、寄生容量がサンプリングミキサの性能に与える 影響について明らかにする。



Δ



## 背景・目的 サンプリングミキサの基本動作 寄生素子を含んだ動作解析









### サンプリングミキサの動作

1. 電流積分

クロックLOの1周期でサンプリング 容量が貯まる電荷

2.移動平均

クロックLOのN周期でサンプリング の効果





### 1. 電流積分(1)

- *T<sub>on</sub>*:サンプリング周波数のデューティ
   *C<sub>s</sub>*:サンプリング容量
- TA入力からサンプリング 容量までの電圧伝達関数











 $|\mathcal{V}_{C_s}|$ 

 $V_{in}$ 



電流積分によりノッチが発生



2. 移動平均(1)





```
2.移動平均(2)
```







### 背景・目的 サンプリングミキサの基本動作

### ■寄生素子を含んだ動作解析

















#### 電荷積分





### 計算結果(1)

#### 電荷積分

$$\frac{1}{\left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega(C_{s} + C_{p})\right)^{2}} \left(1 + e^{-\frac{2T_{m}}{R(C_{s} + C_{p})}} - 2\cos(\omega T_{on})e^{-\frac{T_{m}}{R(C_{s} + C_{p})}}\right) + \left(\frac{C_{p}}{C_{s} + C_{p}}\right)^{2} \frac{1}{\left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega C_{p}\right)^{2}} \left(1 + e^{-\frac{2T_{off}}{RC_{p}}} - 2\cos(\omega T_{off})e^{-\frac{T_{off}}{RC_{p}}}\right) \right) + 2\frac{C_{p}}{C_{s} + C_{p}} \frac{1}{\left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega C_{p}\right)^{2}} \left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\frac{C_{p}}{C_{s} + C_{p}}\right)C_{p}\left(\cos(\omega T_{on}) - e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} + C_{p})}} - e^{-\frac{T_{off}}{RC_{p}}}\cos(\omega T) + e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} + C_{p})}RC_{p}}\cos(\omega T) + e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} + C_{p})}RC_{p}}\cos(\omega T_{off}) \right) \right) + 2\frac{C_{p}}{C_{s} + C_{p}} \frac{1}{\left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega C_{p}\right)^{2}} \left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega C_{p}\right)^{2} \left(\frac{1}{R}\right)^{2} + \left(\omega C_{p}\right)^{2} \left(\cos(\omega T_{on}) - e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} - C_{p})}} - e^{-\frac{T_{off}}{RC_{p}}}\cos(\omega T) + e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} + C_{p})}RC_{p}}\cos(\omega T) + e^{-\frac{T_{off}}{R(C_{s} + C_{p})}RC_{p}}\cos(\omega T) \right) \right) \right)$$



分析1--積分

### • $C_{p}$ の影響(R) $\left|\frac{v_{C_{s}}}{v_{in}}\right| = \left|\frac{g_{m}T}{(C_{s}+C_{p})}\frac{\sin\left(\frac{T}{2}\omega\right)}{\left(\frac{T}{2}\omega\right)}\right|$ (1)















 1. 全体のノッチが浅く なる。
 2. 入力信号の ゲインが理想より 約15dB低下。





### 背景・目的 サンプリングミキサの基本動作

### ■寄生素子を含んだ動作解析











### 移動平均モデル



#### 移動平均の減衰係数hの導出





#### 移動平均



- 1. 積分時間、サンプリング周波数、寄生容量、およびTAの出 力抵抗が減衰係数hに影響する。
- ノッチの深さがhの値に依存する; hが減少するのに従って、 ノッチが浅くなる。





### ■ C<sub>p</sub>の影響(R

h = 1

### ■ Rの影響(C<sub>p</sub>=0)

$$h = \exp\left(-\frac{T_{on}}{RC_s}\right)$$

















### 全てを考慮した伝達特性







# 背景・目的 サンプリングミキサの基本動作 寄生素子を含んだ動作解析











- サンプリングミキサ動作における積分と移動平均に対して、 TAの出力抵抗と寄生容量の影響を明らかにした。
- 寄生容量は、サンプリング周波数近傍における周波数特性に影響を与え、不要なノッチを生成する。サンプリング周波数近傍における利得が大きく下がるのが問題である。
- TAの出力抵抗の影響に関して、ノッチが浅くなり利得も 低下する。
- ノッチの深さとサンプリング周波数近傍での利得には、TAの 出力抵抗に関してトレードオフがある。



### Thank You

### Question?



積分の確認



